

取扱説明書

インカムアプリケーション for iPhone

(ET-INCOMAPI)

Ver.1.XXX~

このたびは、本アプリケーションをご利用いただき、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」は、インカムアプリケーション（以降本アプリケーションまたはアプリケーションと記載）をご利用する場合に使用します。
よくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●この「取扱説明書」に記載されていない機能については、主装置の取扱説明書をご覧ください。
●主装置のデータ設定については、販売店にご依頼ください。

■本取扱説明書全体の注意点について

- 本取扱説明書及び本アプリケーションの一部または全部を無断で複写・転載することは、固くお断りします。
- 本取扱説明書及び本アプリケーションの内容について、改良・仕様変更のため予告なしに変更することがあります。
- 本取扱説明書中のイラスト及び画像は、説明用のため実際とは多少異なる場合があります。また、説明に関係のない部分を一部省略している場合があります。
- 本取扱説明書中における端末（OS）側の設定に関する記載の表現や手順等は一例であり、ご利用の機種によっては、一部の表現や手順等が異なる場合があります。
- 本アプリケーションの一部機能において、iTunesに関する記載がありますが、「macOS」のPCではFinderアプリケーション等をご利用ください。

■本取扱説明書に記載の各社商標について

- iPhoneは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づいて使用されています。
- iOSは、Apple Inc.のOS名称です。
- IOSは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth® はBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

1. 概要	2
アプリケーション導入上のご注意	2
動作確認済み機種一覧	5
2. アプリケーションの起動	6
アプリケーションの起動	6
3. アプリケーションの設定	9
社外利用 ON/OFF	9
モバイル回線固定 ON/OFF	10
PTT ボタン通話固定 ON/OFF	11
通信切断時の音声通知 ON/OFF	12
入室時ハンズフリー利用 ON/OFF	13
基本情報の設定	14
保守情報の設定	16
プライバシーポリシー	20
Q&A	21
ログアウト	22
アプリの終了	24
4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）	25
ルームに参加する（インカムで通話する）	25
ルームから退出する	27
ルームから抜ける（インカム不参加）	28
電話をかける	29
電話を受ける	30
5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）	38
VoIP プッシュ通知機能を利用する	38
CallKit で電話を受ける	39
外出先で利用する	40
二次元コードで設定を行う	41

1. 概要

本アプリケーション（ET-INCOMAPI）は、スマートフォンをXシリーズ主装置のインカムとして利用するためのアプリケーションです。SIMを使用したモバイルデータ通信およびWi-Fi接続（主装置ネットワーク内）で利用できます。

※通信規格であるLTE、4G、5Gなどの携帯キャリアによるデータ通信・通話サービスについては、本取扱説明書では「モバイルデータ通信」または「音声通話回線」などと表記しています。

※着信時などにインターネット経由でプッシュ通知を受信する機能に対応しており、アプリケーションが未起動（停止中）の場合でも通知を受信できます。

※本アプリケーションを動作確認済み機種以外のスマートフォンにインストールした場合の動作保証はいたしません。

アプリケーション導入上のご注意

【全般】

- 本アプリケーションをXシリーズ主装置のインカムとして利用するにあたっては以下の用品が必要となりますので、利用前にご確認ください。
 - ・Xシリーズ主装置（ソフトバージョン：4-1版～）
 - ・Xシリーズ用VoIP内線ユニット（VOIPU/VOIPUD）
※本アプリケーションを使用するスマートフォン、およびその他接続するIP電話機の台数に応じた枚数が必要です。
 - ・インカム機能ライセンス
※ライセンスの登録方法については、販売店へお問い合わせいただくか、主装置工事・保守マニュアル「データ設定マニュアル編ーライセンス管理」を参照してください。
 - ・無線LANアクセスポイント
※無線LANアクセスポイントの動作確認済み機種については販売店へお問い合わせください。動作確認済み以外の機種を使用した場合、動作や品質は保証できません。また、無線LANアクセスポイントの設定は販売店へご依頼ください。
- 利用可能な主装置サービス機能や、主装置側に必要な設定内容は、主装置の工事・保守マニュアル「データ設定マニュアル編」の「データ設定早見表」「コマンド一覧表」「コマンド説明」に記載されています。詳細は販売店にご確認ください。
- 本アプリケーションはIPカメラドアホンなどの映像を表示できません。音声通話のみの対応となります。そのため、本アプリケーションに映像を表示する機能を主装置や画像サーバ側で設定しないでください。

【ネットワーク】

- 本アプリケーションは、SIMを使ったモバイルデータ通信およびWi-FiなどのIPネットワーク経由で通信します。そのため、一般の電話機と比較してネットワーク環境により通話品質が異なる場合があります。音声の遅延、途切れ、エコー、操作が有効にならないなどの事象が発生することがあります。特に以下のような状況ではご注意ください。
 - ・スマートフォンが高負荷の状態にある場合
 - ・本アプリケーションで使用しているネットワークに大きなトラフィックが発生している場合
 - ・電波の弱いエリアで使用している場合や周囲の環境変化で一時的に電波状況が弱くなっている場合、または無線LANアクセスポイントのチャンネル干渉や圏外エリアがある場合
※無線LANアクセスポイントの設置については、事前にサイトサーベイを行ってください。詳しくは販売店へご相談ください。
- 1台の無線LANアクセスポイントに多数のスマートフォンを接続すると、端末1台あたりの通信速度が低下し、すべてのスマートフォンで通話品質の悪化や接続断が発生するおそれがあります。1台の無線LANアクセスポイントに同時接続するスマートフォンの台数は、8台を目安としてください（無線LANアクセスポイントを他機器と共用していない場合）。
- プッシュ通知機能を利用する場合は、事前に主装置をインターネットへ接続しておく必要があります（主装置がインターネットに接続されていない場合、プッシュ通知機能は利用できません）。インターネットへの接続方法については、販売店にご確認ください。

1. 概要

アプリケーション導入上のご注意

- Wi-Fiのネットワーク設定にある「IPv4アドレス」は「手動」に設定し、必ずシステム環境に適したIPアドレスを設定してください。
また、「ルーター」や「DNS」の項目が空欄の場合、またはシステム環境に適さないIPアドレスを設定している場合は、Wi-Fi通信が不安定となり、本アプリケーションで着信を受けられないことがあります。
正常にWi-Fiへ接続している場合は、端末画面に扇形の「Wi-Fiアイコン」が表示されます。必ずアイコンが表示されていることを確認したうえで、本アプリケーションをご利用ください。
- 本アプリケーションは事業所用PHSと異なり「ハンドオーバー」には対応していません。無線LANアクセスポイントが切り替わると、主装置との接続が切断されることがあります。切断された場合は、再度主装置への接続操作を行ってください。
また、通話しながら移動中に、接続中の無線LANアクセスポイントの電波が届かない場所へ移動すると、周囲に電波状況が良好な無線LANアクセスポイントがあっても通話が切断される場合があります。
※利用環境やスマートフォン性能によっては、接続や通話が継続する場合があります。詳細は販売店へご確認ください。
- Wi-Fi接続環境でプッシュ通知機能を利用する際は、スマートフォンのネットワーク設定にある「IPv4アドレス」を「手動」に設定し、以下の内容を入力してください。
ルーター：システム環境に接続しているルータ等のIPアドレス
DNS：8.8.8.8
主装置がインターネット未接続でプッシュ通知機能を使用しない場合は、「ルーター」に無線LANアクセスポイントのIPアドレスを設定してください（「DNS」は8.8.8.8のままで問題ありません）。
- Wi-Fi接続環境で主装置へ正常に接続できない場合は、無線LANアクセスポイントの設定とスマートフォンのWi-Fi設定を確認し、必要に応じて見直してください。また、設定を変更した場合は、本アプリケーションを必ず再起動してください。

【スマートフォン】

- 本アプリケーションがローカルネットワークへ接続するには、OS側で許可が必要です。主装置へ接続する際にローカルネットワークの許可を求める画面が表示されますので、「OK」をタップして許可してください。
- 本アプリケーションは、スマートフォンの画面解像度やフォントサイズによっては正常に表示できない場合があります。本アプリケーション起動中に端末側で「フォント」や「テーマ」の設定を変更すると画面が正常に表示されませんので、必ず本アプリケーションを再起動してください。
- OSでデフォルトのWebブラウザを変更できますが、本アプリケーションを使用する場合はWebブラウザを「Safari」に設定してください。
他のWebブラウザをデフォルトに設定すると、正常に動作しない場合があります。
- 主装置ホスト名の設定時などに、入力確定時のiOS自動修正機能が動作し、別の文字列に置き換わる場合があります。自動修正された場合は、元の文字列に戻して登録してください。事前に、OS設定の「一般」→「キーボード」→「自動修正」を無効にすることで、文字列の置き換えを防止できます。
- PCとUSB接続して、本アプリケーションでエクスポートした設定ファイルなどのデータを移動する場合は、iTunesを使用してください。

【Bluetoothヘッドセット】

- 本アプリケーションで使用するBluetoothヘッドセットは、以下の基準を満たすものをご利用ください。また、スマートフォンとの接続方法については、Bluetoothヘッドセットの取扱説明書をご参照ください。

適合規格	Bluetooth® 5.0以上
対応プロファイル	HFP
必要な機能	マイクミュート機能

※導入前には、必ず動作および通話、着信通知音の確認を行ってください。

1. 概要

アプリケーション導入上のご注意

- Bluetoothヘッドセットを使用中は、他のアプリケーションの利用や他のヘッドセット機器への切り替え操作を行わないでください。これらの操作を行うと、正常に動作せず、通話が行えなくなる場合があります。
- スマートフォンとBluetoothヘッドセットの組み合わせや、電池残量、距離、電波干渉の影響などにより、操作音や着信音が鳴動しない、音声が届かない、音量を変更できない、または通話が困難になる場合があります。
- 有線イヤホンマイクとBluetoothヘッドセットは併用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- Bluetoothヘッドセット側の発信・応答操作や独自機能は、本アプリケーションでは使用しないでください。
- Bluetoothヘッドセットの仕様や特性に起因する動作や音声品質については、保証できません。

【アプリケーション】

- 本アプリケーションをご利用の前に、主装置側の設定で、本アプリケーションを接続する収容位置のプログラマブルキー-36に「マイク」を必ず登録してください。登録方法は、主装置に添付の取扱説明書をご参照ください。
※プログラマブルキー-36には「マイク」以外の機能を登録しないようご注意ください。
- どこでもでんわ機能は、モバイルデータ通信でのみご利用いただけます。スマートフォンがWi-Fiに接続している場合でも、「モバイル回線固定ON/OFF」設定を「ON」にすることで、どこでもでんわ機能をご利用いただけます。
- 本アプリケーションの発着信中や通話中に他のアプリケーションを使用しないでください。使用した場合、着信音が鳴らない、通話ができないなどの事象が発生することがあります。
- 本アプリケーションが正常に動作しない場合は、アプリケーションを再起動してください。それでも改善しない場合は、スマートフォン本体を再起動したうえで、本アプリケーションを再度起動してください。
- スマートフォンのOS内部で処理が競合した場合、画面が正常に表示されないことがあります。その場合は、タブをタップして画面の切り替えを行ってください。
- 着信音設定の「ユーザメロディ」は、「grande_valse_brillante_op18」が選択された状態となります。任意の音楽ファイルを選択することはできませんので、ご注意ください。
- 本アプリケーションでインカム通話中に音声通話回線から着信が入った場合は、自動的にルームを退出し、CallKitの着信画面に切り替わります。
本アプリケーションで内線通話中に音声通話回線から着信が入った場合は、CallKit画面で「終了して応答」「拒否」「メッセージを送信」「あとで通知」のいずれかを選択します（OSバージョンによって表示される選択肢が異なる場合があります）。
- 同じスマートフォンに本アプリケーションと多機能電話アプリケーション2をインストールして利用できます。
 - ・多機能電話アプリケーション2は、インカムライセンスの他に端末1台ごとにライセンスが必要です。
 - ・本アプリケーションと多機能電話アプリケーション2は、同じ内線番号を使用してください。
 - ・両アプリの同時起動はできません。いずれかのアプリを起動する前に、使用していたアプリで必ずログアウトおよび終了操作を行ってください。
- 有線イヤホンマイクでご利用の際に、音声スマートフォン本体から出力される場合は、本アプリケーション設定の「入室時ハンズフリー利用ON/OFF」を「OFF」にしてご使用ください。

1. 概要

動作確認済み機種一覧

- 本アプリケーションの動作確認済み機種は、サポートページをご参照ください。

インカムアプリケーション サポートページ

<https://www.hoshunet.jp/fsc/qa/INCOM/incomap.html>

- 動作確認済み機種に関する注意事項は、以下記載の通り。
 - ※1：スマートフォンのOS自動バージョンアップ（「夜間にアップデート」設定）は行わないでください。
 - ※2：スマートフォン側の「画面表示と明るさ」で「外観モード」を「ダーク」に設定している場合でも、本アプリケーションは「ライト」設定と同様の画面表示および動作になります。ただし、端末（OS）側で表示されるダイアログ等は端末側の設定に依存します。
 - ※3：iOS26から標準搭載された「Liquid Glass」の影響により、一部デザインがOS側で最適化された表示になる場合があります。
 - ※4：スマートフォンをデュアルSIMで運用すると、主装置との通信が不安定になることがあります。

2. アプリケーションの起動

アプリケーションの起動

アプリケーションを起動します。

※手順4～7については、アプリケーションの初回起動時のみ操作が必要となります。

1

アプリケーションを起動する前に端末側のWi-Fi設定で、システム環境の無線LANアクセスポイントへ接続します。



【補足説明】

- Wi-Fi設定後、扇マークの「Wi-Fiアイコン」が表示されていることを必ずご確認ください。
- 無線LANアクセスポイント接続時、Wi-Fi設定において「接続を確認」の設定は「オフ」で本アプリケーションを利用することを推奨とします（「通知」および「確認」で利用している場合、主装置への接続状況が安定しないことがあります）。
- 社外利用ON（どこでもんわ機能ON）で利用する場合、本操作は不要です。

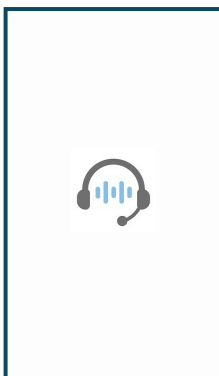
2

アプリケーションアイコン「インカムアプリ」をタップします。



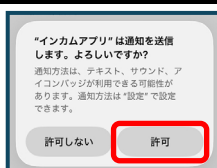
3

アプリケーションの起動画面が表示されます。



4

アプリケーションの通知設定に関するダイアログが表示されますので、「許可」ボタンをタップします。



【補足説明】

- 本手順でダイアログの「許可しない」ボタンをタップした場合は、端末側の設定アプリでアプリケーションの通知設定を別途行ってください。

5

アプリケーションのネットワーク接続条件設定画面が表示されますので、必要な項目を設定します。



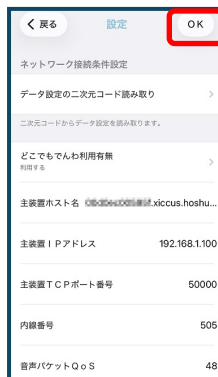
【主な設定項目】

どこでもんわ利用有無	初期値は「利用しない」となっていますので、必要に応じて設定してください。
主装置ホスト名	どこでもんわ利用時および外出先からのログアウト操作を行う場合に設定を行います。初期値は空欄となっていますので、主装置のMACアドレス・容量に従ってホスト名を入力してください。
主装置IPアドレス	初期値は「192.168.1.100」が入力されていますが、主装置側のデータ設定（主装置のIPアドレス）の値に従うため、必要に応じて変更してください。
主装置TCPポート番号	初期値は「50000」が入力されていますが、主装置側のデータ設定（IP端末制御用ポート番号）の値に従うため、必要に応じて変更してください。
内線番号	初期値は空欄となっていますので、主装置側のデータ設定（内線番号）の値に従って接続する収容位置の内線番号を入力してください。
端末IPアドレス表示	手順1で正常に無線LANアクセスポイントへ接続できている場合、取得したIPアドレスが表示されますので、ご確認ください。 「取得失敗」と表示された場合は、Wi-Fiの接続状況をご確認ください。 どこでもんわを利用する場合は携帯キャリアから割り当てられたIPアドレスが表示されません。

※Xシリーズ主装置のデータ設定アプリケーション（バージョン：4.1.0.1～）で作成した二次元コードを使用してネットワーク接続条件設定などを設定することができます。詳細は、「5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）-二次元コードで設定を行う」のページをご参照ください。

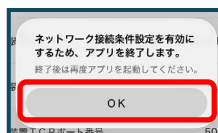
6

必要な項目の設定後、「OK」ボタンをタップします。



7

右記のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをタップすると、アプリケーションが自動で終了します。その後手動でアプリケーションの再起動を行います。



アプリケーションを再起動してから数秒後、右記のように「インカム」タブの画面が表示されます。主装置への接続完了となり、本アプリケーションの利用が可能となります。

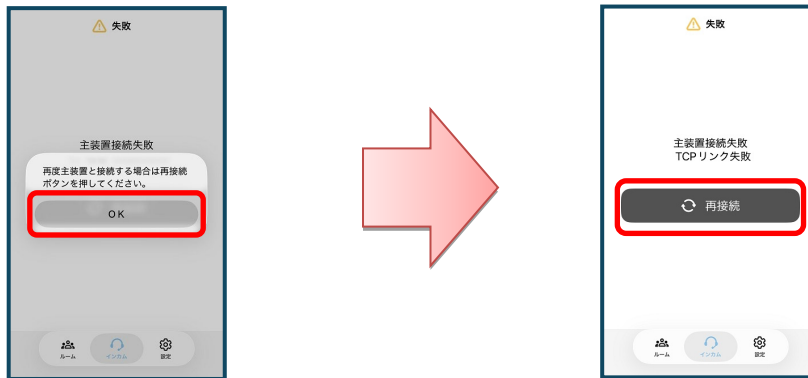


【補足説明】

- 本アプリケーションを初回起動以降に起動した場合、正常に主装置へ接続できる環境であれば、手順3の起動画面表示から数秒後に左記の画面を表示します（ルーム参加している場合は待機中（ルーム未入室）の画面になります）。

補足説明

- 主装置への接続に失敗した場合、以下のような画面が表示されます。ダイアログの「OK」ボタンをタップし、無線LANアクセスポイントの設定及びスマートフォンのWi-Fi設定やネットワーク環境を必ずご確認ください。見直しのうえ、「再接続」ボタンをタップしてください。正常に主装置へ接続できる環境であれば、数秒後に主装置への接続完了となります。



以下のようなエラー画面（エラー情報 00800000）が表示された場合、インカム機能のライセンスキーが主装置に登録されていない可能性、またはインカムライセンスは登録済みであるものの、主装置の設定が「参加型インカムモード」になっていない可能性があります。

その他のエラー情報が表示された場合も同様に、販売店にご確認いただくとともに、主装置の工事・保守マニュアル「工事マニュアル編—IPSD電話機・IPLD電話機の設置—障害探索手順」に記載の「■エラー情報対応表」を参照のうえ、ネットワーク環境や設定内容をご確認ください。

主装置接続失敗
エラー情報 00800000

3. アプリケーションの設定

インカムのルーム参加中は設定変更を行わないように注意してください。設定変更を行う場合は、ルームから退出するか、インカム不参加の状態ではタブバーの「設定」をタップしてください。

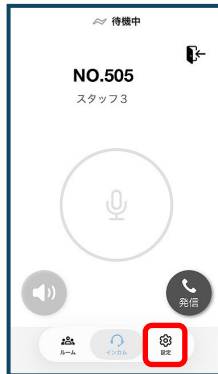
社外利用 ON/OFF

社外利用の ON/OFF 設定を行います。

ON の場合は、SIM を使ったモバイルデータ通信により、外出先や Wi-Fi の電波が届かないエリアでも本アプリケーションを利用できます。

1

タブバーの「設定」をタップします。



2

社外利用のON/OFFはトグルスイッチをタップすることで切り替えができます。



【補足説明】

- 初期値は「OFF」になっています。
- 「OFF」の場合は Wi-Fi 接続の設定が必要です。
- 「ON」の場合はどこでもでんわの設定が必要です。

3

アプリ終了確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップします。アプリが終了したら「インカムアプリ」のアイコンをタップしてアプリケーションを起動させます。



3. アプリケーションの設定

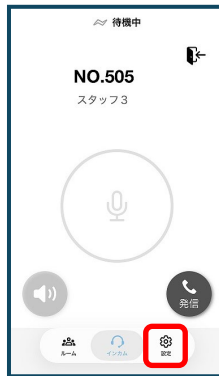
モバイル回線固定 ON/OFF

スマートフォンが Wi-Fi 接続時でも、モバイル回線で通信することができます。本設定は基本的に「ON」のままご利用ください。

※「社外利用 ON/OFF」が「ON」に設定されている場合のみ、本設定の変更が可能です。「社外利用 ON/OFF」が「OFF」の場合は、本設定に関係なく Wi-Fi で通信します。

1

タブバーの「設定」をタップします。



2

モバイル回線固定のON/OFFはトグルスイッチをタップすることで切り替えができます。



【補足説明】

- ・初期値は「ON」になっています。

3

アプリ終了確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップします。アプリが終了したら「インカムアプリ」のアイコンをタップしてアプリケーションを起動させます。

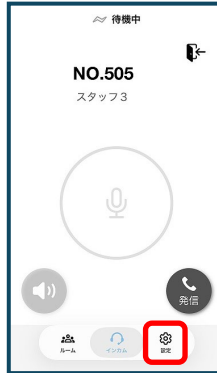


3. アプリケーションの設定

PTT ボタン通話固定 ON/OFF

「PTT」ボタンをタップすることによって送話の ON/OFF を切り替える方式と、押し続けている間だけ送話を有効にする方式を選択できます。

1 タバーの「設定」をタップします。



2 PTTボタン通話固定のON/OFFはトグルスイッチをタップすることで切り替えができます。



【補足説明】

- 初期値は「ON」になっています。「ON」の場合、「PTT」ボタンをタップすることによって送話の ON/OFF が切り替わります。「OFF」に設定すると、「PTT」ボタンを押し続けている間だけ送話が有効になります。

3 アプリ終了確認のダイアログが表示されるので、「OK」をタップします。アプリが終了したら「インカムアプリ」のアイコンをタップしてアプリケーションを起動させます。



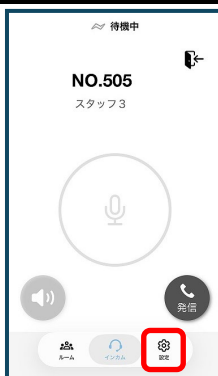
3. アプリケーションの設定

通信切断時の音声通知 ON/OFF

ルーム参加中に、本アプリケーションと主装置の通信が切れた際に、「通信が切断されました」というアナウンスで通信切断を知らせることができます。

※ルーム退出中やインカム不参加時に通信が切断された場合は、アナウンスは送出されません。

1 タバーの「設定」をタップします。



2 通信切断時の音声通知は、トグルスイッチのタップでON/OFFを切り替えることができます。



【補足説明】

- 初期値は「ON」になっています。

3. アプリケーションの設定

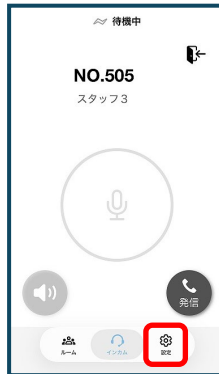
入室時ハンズフリー利用 ON/OFF

ルームに参加した際、ハンズフリーON 状態で開始するか、OFF 状態で開始するかを設定することができます。ルームを退出して再度入室した場合も、ハンズフリーのON/OFF は退出時の状態ではなく、本設定に従います。

※Bluetooth ヘッドセットを接続している場合は、本設定にかかわらず、ヘッドセットでの送受話になります。

※有線イヤホンマイクを使用する場合は、本設定を OFF に設定してご利用ください。

1 タバーの「設定」をタップします。



2 入室時ハンズフリー利用は、トグルスイッチのタップで ON/OFFを切り替えることができます。



【補足説明】

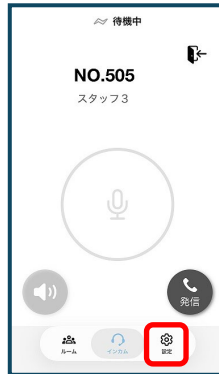
- 初期値は「ON」になっています。

3. アプリケーションの設定

基本情報の設定

アプリケーションを利用するために必要な基本情報の設定を行います。

1 タブバーの「設定」をタップします。



2 「基本情報の設定」をタップします。



3 必要に応じて各種設定を行います。
※各種設定の詳細は次ページ以降へ記載



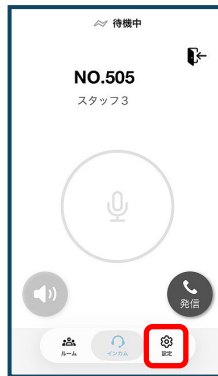
設定区分	設定名称	設定内容	補足説明
表示設定	電話機LCD表示部の時刻表示有無	ダイヤル画面で電話機LCD表示部の時刻について、「表示しない/表示する」を選択します。	初期値は「表示しない」が設定されています。「表示する」に設定した場合、ダイヤル画面で電話機LCD表示部の日付の横に主装置から取得した時刻が表示されます。
	フォントサイズ拡大	LCD、カスタムボタンのフォントサイズを拡大表示することができます。	初期値は「拡大しない」が設定されています。 ※拡大表示を設定すると一部の表示が省略される場合があります。
着信設定	内線着信音	ナースコールの着信音を設定することが可能です。	初期値は「内線着信音A」が設定されています。「内線着信音A～H、ユーザメロディ」の中から選択可能です。
	内線一般着信音	主装置側に設定した内線一般着信の着信音に対応させる端末側の着信音を設定することが可能です。	主装置側着信音01～07・主装置側着信音メロディの着信音を、「内線着信音A～H、ユーザメロディ」の中から選択可能です。
その他	設定画面パスワード表示	設定画面に入る前にパスワード入力画面を表示するかしないかの設定が可能です。	初期値は「表示しない」が設定されています。
	設定画面パスワード設定	設定画面に入る前に入力するパスワードの設定が可能です。	初期値は「0000」が設定されています。
基本情報の設定内容初期化	初期化しない	誤って本設定をタップした場合や設定内容の初期化を中止する場合は「初期化しない」をタップしてください。	-
	初期化する	基本情報の設定内容を全て初期化する場合は、「初期化する」をタップしてください。	初期化後に手でアプリケーションの再起動が必要です。

3. アプリケーションの設定

保守情報の設定

アプリケーションを利用するために必要な保守情報の設定を行います。
※保守情報の設定については、詳細を販売店にご確認のうえで行ってください。

1 タバーの「設定」をタップします。



2 「保守情報の設定」をタップします。



3 保守情報設定パスワード入力画面となりますので、パスワード(初期値は「0000」)を入力して「OK」ボタンをタップします。

※設定を中止する場合は、「キャンセル」ボタンをタップします。



4

必要に応じて各種設定を行います。
※各種設定の詳細は次ページ以降へ記載



設定区分	設定名称	設定内容	補足説明
ネットワーク 接続条件設定	データ設定の二次元コード読み取り	Xシリーズ主装置のデータ設定アプリケーションで作成した二次元コードを読み込むことで「ネットワーク接続条件設定」を設定することができます。	二次元コードの作成については「データ設定アプリケーション」の取扱説明書をご覧ください。 【データ設定アプリケーションXiバージョン：4.1.0.1～】
	どこでもでんわ利用有無	「利用する」に設定することでモバイルデータ通信を利用して本アプリケーションを利用することができます。	初期値は「利用しない」です。 ※本設定は「社外利用ON/OFF」設定と同期します。
	主装置ホスト名	主装置のホスト名を「主装置MACアドレス. 主装置容量. hoshunet. jp」の形式で設定してください。	初期値は空欄となっています。どこでもでんわおよび外出先からのログアウトを利用する場合に必要な設定です。
	主装置IPアドレス	主装置側のデータ設定に従って、接続する主装置のIPアドレスを正しく設定してください。	初期値は「192.168.1.100」が設定されています。
	主装置TCPポート番号	主装置側のデータ設定に従って、接続する主装置のTCPポート番号を正しく設定してください。	初期値は「50000」が設定されています。 ※主装置設定と合わせてください。
	内線番号	主装置側のデータ設定に従って、接続する収容位置の内線番号を正しく設定してください。	初期値は空欄となっています。
	音声パケットQoS	音声パケットの優先度が設定可能です。	初期値は「48」が設定されています。必要に応じて「0(低)～63(高)」の範囲で設定を変更してください。
	端末IPアドレス表示	現在接続されている無線LANアクセスポイントのIPアドレスまたは携帯キャリアから割り振られたIPアドレスを取得して自動で表示します。 ※手動での設定は不可です。	「取得失敗」と表示される場合はIPアドレスが正しく取得できていません。無線LANアクセスポイントやモバイルデータ通信の接続状況をご確認ください。
活性化リトライ	本アプリケーションが主装置と接続されていないとき、本アプリケーションが活性化時に主装置へ接続要求を再送する回数が設定可能です。	初期値は「3」が設定されています。必要に応じて「0～10」の範囲で設定を変更してください。	
システム管理	保守情報設定パスワード	保守情報設定時、設定画面に入る前に入力するパスワードの設定が可能です。	初期値は「0000」が設定されています。
	アプリケーションのバージョン	現在インストールされているアプリケーションのバージョンを確認することができます。	-
	データ設定のエクスポート ※パスワードはエクスポート対象外となります。	本アプリケーションのデータ設定をエクスポートすることができます。 ※本アプリケーションのアンインストール時、エクスポートしたファイルは削除されますので、ご注意ください。	エクスポートしたデータ設定は端末内へ「datファイル」として保存されます。 → 例：INCOM260601.dat ※ファイル名はエクスポート時に「INCOM」の文字列の後に日付が入って自動で表示されますが、必要に応じて変更することが可能です。

設定区分	設定名称	設定内容	補足説明
システム管理	データ設定の インポート	端末内へ保存されている本アプリケーションのデータ設定をインポートすることができます。 ※本アプリケーションをバージョンアップした場合、現バージョンより前のバージョンでエクスポートしたファイルについてもインポートすることが可能です（現バージョンと前のバージョンの両方に存在する設定項目については、そのまま引き継がれます）。	端末内へ「datファイル」が複数存在する場合は、任意のファイルを選択することが可能です。 ※インポート後、手動でアプリケーションの再起動が必要です。
	プッシュ通知 レジスト情報	プッシュ通知機能を利用するために必要なレジスト情報を取得し、表示することができます。	「ファイル保存」をタップすると、端末内へ「RegistID.txt」のファイルとして保存することが可能です。保存したファイルは、iTunes経由でPCへ取り込むことが可能です。
	VoIPプッシュ通知 レジスト情報	VoIPプッシュ通知機能を利用するために必要なレジスト情報を取得し、表示することができます。	「ファイル保存」をタップすると、「VoIPRegistID.txt」というファイル名で端末内に保存されます。保存したファイルは、iTunes経由でPCへ取り込むことが可能です。
保守情報の 設定内容 初期化	初期化しない	誤って本設定をタップした場合や設定内容の初期化を中止する場合は「初期化しない」をタップしてください。	-
	初期化する	保守情報の設定内容を全て初期化する場合は、「初期化する」をタップしてください。	初期化後、手動でアプリケーションの再起動が必要です。 ※下記の設定も併せて初期化されます。 ・社外利用ON/OFF ・モバイル回線固定ON/OFF ・PTTボタン通話固定ON/OFF ・通信切断時の音声通知ON/OFF ・入室時ハンズフリー利用ON/OFF
全初期化	初期化しない	誤って本設定をタップした場合や全初期化を中止する場合は「初期化しない」をタップしてください。	-
	初期化する	アプリケーションの基本情報や保守情報を全て初期化する場合は「初期化する」をタップしてください。	初期化後、手動でアプリケーションの再起動が必要です。
ログ表示	-	本アプリケーションのログを表示することができます。	-
ログ送信	-	本アプリケーションのログおよびデータ設定をメールで送信することができます。	デフォルトのメールアプリケーションは「標準メール」を設定してください。他のメールアプリケーションを設定すると正常に動作しない場合があります。

3. アプリケーションの設定

プライバシーポリシー

開発元のプライバシーポリシーが掲載されたWebページを表示します。

1

タブバーの「設定」にある「プライバシーポリシー」をタップします。ブラウザアプリ「Safari」が起動し、プライバシーポリシーが掲載されたWebページが表示されます。



ご注意

- 接続している無線LANアクセスポイントがインターネットに接続されていない環境の場合、またはネットワーク環境やWebページのリンク先が不安定な場合は、画面が切り替わらないことがあります。
- 端末の設定で「Safari」を制限している場合、エラーダイアログが表示され、Webページを表示できません。
(例：「スクリーンタイム」→「コンテンツとプライバシーの制限」)

3. アプリケーションの設定

Q&A

本アプリケーションに関するQ&Aが掲載されたWebページを表示します。

1

タブバーの「設定」にある「Q&A」をタップします。ブラウザアプリ「Safari」が起動し、Q&Aが掲載されたWebページが表示されます。



ご注意

- 接続している無線LANアクセスポイントがインターネットに接続されていない環境の場合、またはネットワーク環境やWebページのリンク先が不安定な場合は、画面が切り替わらないことがあります。
- 端末の設定で「Safari」を制限している場合、エラーダイアログが表示され、Webページを表示できません。
(例：「スクリーンタイム」→「コンテンツとプライバシーの制限」)

3. アプリケーションの設定

ログアウト

主装置からのログアウト操作を行います。ログアウトすることで、内線一般着信およびナースコール着信、それぞれのプッシュ通知を受けなくすることができます。

※外出先（主装置のローカルネットワーク外）でもログアウトの操作が可能です。

- 1 タバーの「設定」にある「ログアウト」をタップします。



- 2 「ログアウトする」をタップします。



【補足説明】

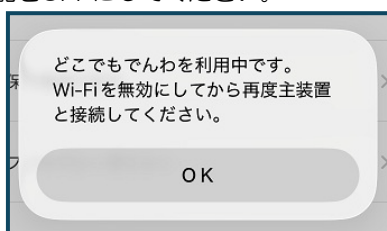
- 以下のような場合にログアウト操作を行ってください。
 - ①外出等でプッシュ通知を受ける必要が無く、外出前に主装置との接続を一時的に解除する場合
 - ②Wi-Fiのネットワーク設定から、本アプリケーションを主装置へ接続するためのIPアドレス設定を変更する場合
- ※設定を変更する前にログアウトすること

- 3 確認のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをタップします。その後、ログアウトが実行されます。ログアウト後はアプリケーションを終了してください。



補足説明

- どこでもんわ機能を利用しない構成で外出先からログアウト操作を行う場合も、主装置のDDNSサーバ登録および本アプリケーションの「保守情報の設定 – ネットワーク接続条件設定 – 主装置ホスト名」の設定が必要となります。
- どこでもんわ機能を利用する設定でログアウト操作時に下記のエラー画面が表示される場合は、スマートフォンのWi-Fi機能をOFFにしてください。



3. アプリケーションの設定

アプリの終了

アプリケーションを終了します。

1

タブバーの「設定」にある「アプリの終了」をタップします。



2

「終了する」をタップします。



3

確認のダイアログが表示されるので、「OK」ボタンをタップします。その後、アプリケーションが終了します。



4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

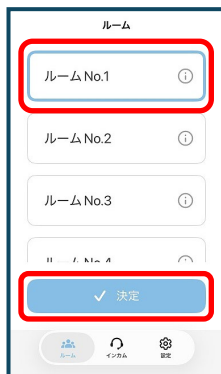
ルームに参加する（インカムで通話する）

同じルームの参加者同士が同時に会話できます。

※内線の発信中・着信中・通話中は、ルームに参加できません。

1

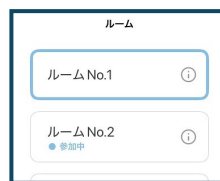
「ルーム」タブで参加したいルームを選択し、「決定」ボタンをタップします。



【補足説明】

• 既にルームに参加している場合は、ルーム名の下に「参加中」と表示されます。ルームを変更する場合は、参加したいルームを選択して「決定」ボタンをタップします。現在のルームに参加する場合は、そのまま「インカム」タブをタップします。

※ルームNo.2に参加中の表示例



2

「インカム」タブが表示されるので、画面上部に「参加中」と表示されていることを確認します。



【補足説明】

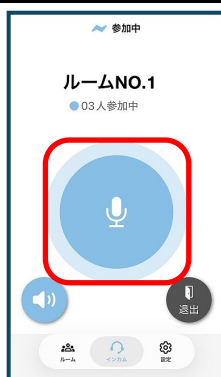
• 画面上部に「待機中」が表示されている場合は、「入室」ボタンをタップします。

※待機中（ルーム未入室）の表示例



3

「PTT」ボタンをタップしてから話すと、ルームに参加している全員へ音声を送られます。会話が終わったら、再度「PTT」ボタンをタップして送話をミュートします。



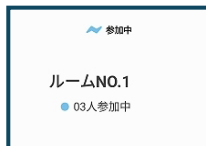
【補足説明】

• 「PTT」ボタンを押している間だけ送話するように設定変更が可能です。

補足説明

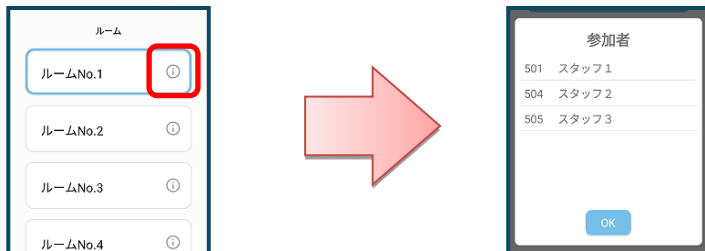
- 各ルームごとの参加人数上限は主装置で設定します。
- 各ルームの参加人数、参加内線を確認することができます。

・ルーム参加中の表示例（ルームNo.1に3人参加中の例）



・「ルーム」タブの表示例（ルームNo.1に3人参加中の例）

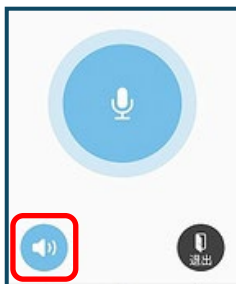
ルームNo横の ⓘ をタップすると、ルームに参加している内線番号と内線名称が表示されます。



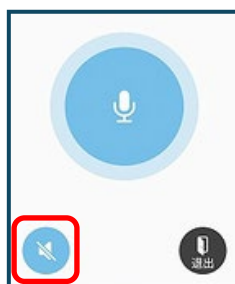
- ルーム参加中に着信を受けると、着信通知音（インバンドトーン）で通知がされます。
- 音声通話回線から着信を受けると、ルームを退出してCallKitの着信画面に切り替わります。
- インカム通話中に、ハンズフリーのON/OFFを切り替えることができます。切り替えは、「HF」ボタンが有効になっている場合（自身を含む同一ルーム参加者のいずれかの送話が有効時）にのみ操作可能です。

ON/OFFの切り替えは「HF」ボタンをタップして行います。

・ハンズフリーON 状態



・ハンズフリーOFF 状態



※Bluetooth ヘッドセットを接続している場合は、ハンズフリーの ON/OFF にかかわらず、ヘッドセットでの送受話となります。

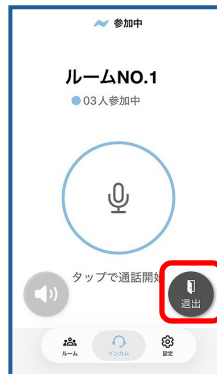
4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

ルームから退出する

ルームの会話に参加しない状態になります。着信応答や内線発信を行う際に、ルームを退出します。

1

インカムのルーム参加中に「退出」ボタンをタップします。

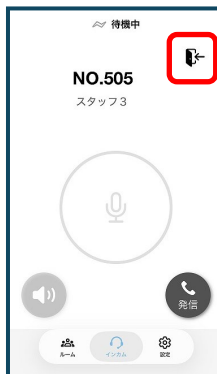


【補足説明】

- 「退出」ボタンはルームに入室中のみ表示されます。

2

ルームを退出すると画面上部に「待機中」が表示されます。もう一度ルームに入る場合は、「入室」ボタンをタップします。



補足説明

- 退出中に着信を受けると、着信通知音による通知ではなく着信鳴動します。
- 退出中は、内線発信および内線一般着信の発信ができます。

4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

ルームから抜ける（インカム不参加）

インカムのルームから退出して、ルーム未選択の状態にすることができます。「インカム不参加」とすることで、誤操作によるルーム参加を防止できます。

※本アプリケーションを初めて起動した場合は、インカム不参加（ルーム未選択）の状態になっています。

1

「ルーム」タブで「インカム不参加」を選択し、「決定」ボタンをタップします。



【補足説明】

- ルーム入室中・退室中に関わらず操作できます。

2

「インカム」タブに遷移し、「ルーム未選択」の表示がされます。



【補足説明】

- 再度ルームに参加する時はタブバーの「ルーム」をタップして利用するルームを選択します。

補足説明

- インカム不参加中に着信を受けると、着信通知音による通知ではなく着信鳴動します。
- インカム不参加中は、内線発信および内線一般着信の発信ができます。

4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

電話をかける

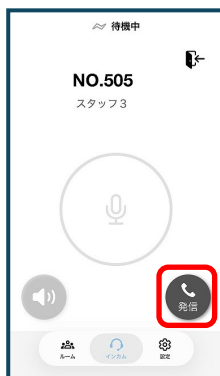
本アプリケーションから内線に発信します。

※本アプリケーションで発信できるのは内線の個別発信と内線一般着信の発信のみです。通話のみ可能で、保留などの機能は利用できません。

※発信中または通話中に「HF切替」ボタンをタップすると、ハンズフリーのON/OFFを切り替えることができます。Bluetoothヘッドセットを接続している場合は、ハンズフリーのON/OFFにかかわらず、ヘッドセットでの送受話となります。

1

「インカム不参加」もしくは「ルーム参加しているが未入室（待機中）」の状態で、タブバーの「インカム」をタップします。続けて「インカム」の画面で「発信」ボタンをタップします。

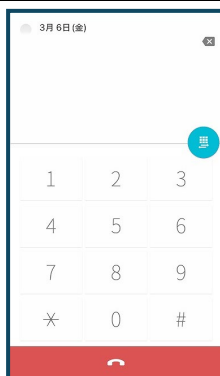


【補足説明】

- ・インカム通話中の場合は、「退出」ボタンをタップします。

2

ダイヤル画面が表示されるので相手内線番号、もしくは内線一般着信の番号をタップします。

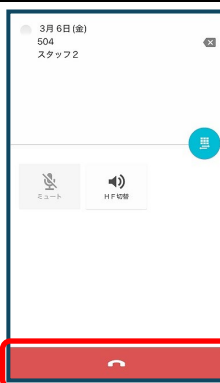


【補足説明】

- ・ダイヤル画面が表示されると内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

3

相手の方が応答したら通話します。通話が終わったら「終話」ボタンをタップします。終話後は「インカム」タブの画面が表示されます。



4. アプリケーションの操作方法（基本的な使い方）

電話を受ける

本アプリケーションで内線一般着信およびナースコールからの着信を受けることができます。インカムルームに入室していない時の着信はVoIPプッシュ通知およびCallKit機能を使用します。詳細については、「5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）-VoIPプッシュ通知機能を利用する/CallKitで電話を受ける」を参照してください。

※通話中に「HF切替」ボタンをタップすると、ハンズフリーのON/OFFを切り替えることができます。

Bluetoothヘッドセットを接続している場合は、ハンズフリーのON/OFFにかかわらず、ヘッドセットでの送受話となります。

・インカムルーム入室中に内線一般着信・ナースコール着信を受ける

1 インカムのルーム入室中に着信を受けると、着信通知音で通知がされます。



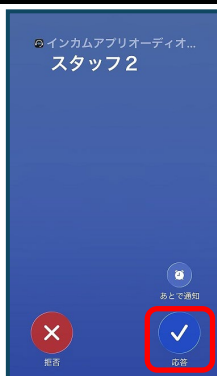
【補足説明】

- ロック中や「ルーム」タブや「設定」タブを表示している状態でも、インカムのルームに参加している場合は着信通知音で着信が通知されます。
- 着信通知音はインバントーン（プップ）で通知されず。

2 「退出」ボタンをタップします。



3 退出するとCallKitの着信画面に切り替わります。この画面で「応答」をタップします。

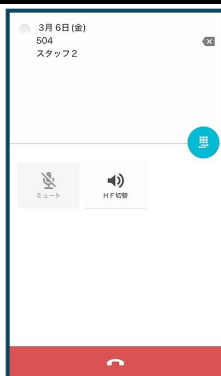


【補足説明】

- 「拒否」や「あとで通知」をタップすると、着信が停止し、端末側の機能が動作します。
※端末側の仕様のため、OSバージョンなどによって機能や動作が異なる場合があります。
- CallKit画面で着信中に音声通話回線から着信が入った場合も、先に入った着信が優先されます。

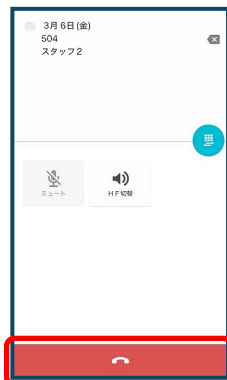
4

応答すると本アプリケーションの通話画面に切り替わるので、相手の方と通話します。



5

通話が終わったら、「終話」ボタンをタップします。終話するとインカムルーム退出中の画面に切り替わります。



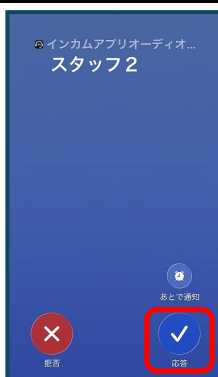
【補足説明】

- 着信応答する前に会話していたルームに戻るときは、終話後の画面で「入室」ボタンをタップします。

- ・インカムルーム退出中、ルーム不参加中に内線一般着信・ナースコール着信を受ける（ロック画面以外）

1

着信を受けるとCallKitの着信画面に切り替わります。この画面で「応答」をタップします。

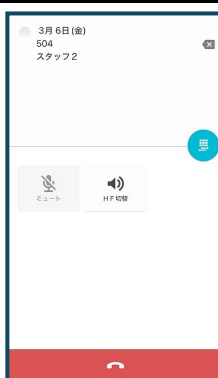


【補足説明】

- ・「拒否」や「あとで通知」をタップすると、着信が停止し、端末側の機能が動作します。
※端末側の仕様のため、OSバージョンなどによって機能や動作が異なる場合があります。
- ・CallKit画面で着信中に音声通話回線から着信が入った場合も、先に入った着信が優先されます。

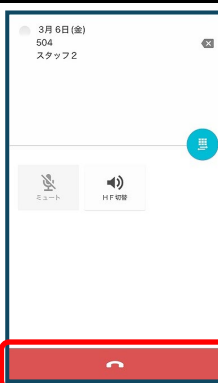
2

応答すると本アプリケーションの通話画面に切り替わるので、相手の方と通話します。



3

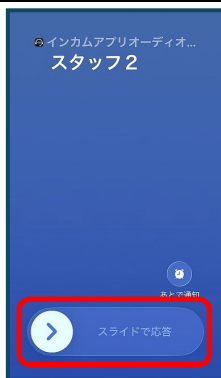
通話が終わったら、「終話」ボタンをタップします。終話すると着信前に表示していた画面に切り替わります。



・インカムルーム退出中、ルーム不参加中に内線一般着信・ナースコール着信を受ける（ロック画面）

1

端末がロック中に本アプリケーションで着信を受けると、CallKitの着信画面が表示されます。「スライドで応答」を右へスライドして応答します。



【補足説明】

- ・「あとで通知」をタップすると、着信が停止し、端末側の機能が動作します。
※端末側の仕様のため、OSバージョンなどによって機能や動作が異なる場合があります。
- ・CallKit画面で着信中に音声通話回線から着信が入った場合も、先に入った着信が優先されます。

2

応答するとCallKitの通話画面に切り替わるので、相手の方と通話します。



【補足説明】

- ・各ボタンをタップすると、端末側の機能が動作します。
※端末側の仕様のため、OSバージョンによって機能や動作が異なる場合があります。
- ①「スピーカー」ボタンまたは「消音」ボタン
本アプリケーションでは、「スピーカー」ボタンおよび「消音」ボタンはサポートしていません。ハンズフリー通話に切り替える場合は、「その他」ボタンから「インカムアプリで開く」を選択して本アプリケーションの通話画面に切り替え、「HF切替」ボタンや「ミュート」ボタンをタップしてください。
- ②「その他」ボタンで「インカムアプリで開く」
本アプリケーションの通話画面に切り替わります。
※端末がロック状態で受けた通話の場合、「インカムアプリで開く」をタップすると、表示される画面で認証を求められることがあります。
- ③「キーボード」ボタンおよび「ビデオ」ボタン
これらの操作（機能）は無効です。
- ・端末がロック画面以外の場合でも、本アプリケーションで着信し通話中であれば、端末のマルチタスク画面から本アプリケーションを選択することで、本手順のCallKit専用通話画面へ切り替えることができます。

3

通話が終わったら、「終了」ボタンをタップします。



• 発信中に音声通話回線から割込着信が入った際の動作を選択する

1

本アプリケーションで内線または内線一般着信の発信中に、音声通話回線から割込着信を受けると、割込音が聞こえ、CallKit専用の割込着信画面が表示されます。

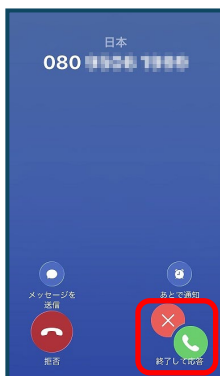


【補足説明】

• 音声通話回線から割込着信が入っている間は割込音が聞こえます。割込音は端末側が送出しているため、音量や回数を変更することはできません。

2

音声通話回線からの割込着信に応答する場合は、「終了して応答」ボタンをタップします。(本アプリケーションからの発信は停止します)



【補足説明】

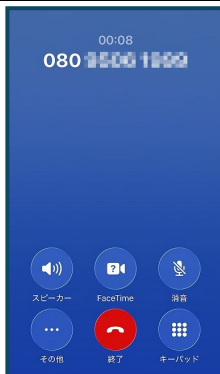
• CallKit専用の割込着信画面で「拒否」「あとで通知」「メッセージを送信」をタップすると、音声通話回線からの割込着信が停止します。

※端末側の仕様のため、OSバージョンなどによって機能や動作が異なる場合があります。

なお、本アプリケーションの発信は継続します。

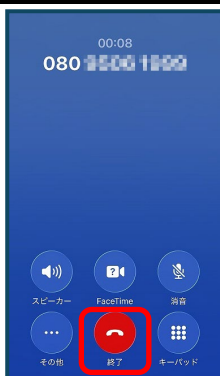
3

通話表示に切り替わりますので、相手の方と通話します。



4

通話が終わったら、「終了」ボタンをタップします。



• 音声通話回線で通話中に本アプリケーションからの割込着信に応答する

1

音声通話回線で通話中に本アプリケーションから割込着信を受けると、割込音が聞こえ、CallKitの割込着信画面が表示されます。

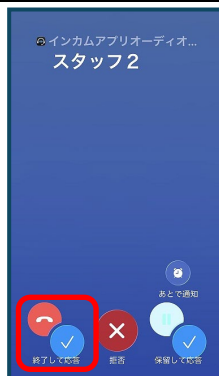


【補足説明】

- 本アプリケーションから割込着信が入っている間は割込音が聞こえます。割込音は端末側が送出しているため、音量や回数を変更することはできません。

2

本アプリケーションからの割込着信に応答する場合は、「終了して応答」ボタンをタップします。



【補足説明】

- 各ボタンをタップすると、端末側の機能が動作します。
※端末側の仕様のため、OSバージョンによって機能や動作が異なる場合があります。
- ①「終了して応答」ボタン
音声通話回線の通話を終了し、本アプリケーションからの割込着信に応答します。
- ②「保留して応答」ボタン
音声通話回線の通話を保留し、本アプリケーションからの割込着信に応答します。保留中は、音声通話回線の通話の相手には標準電話アプリの保留音が聞こえています。各キャリアのキャッチホン／割込通話サービスなどを契約していない場合、「保留して応答」ボタンをタップすると音声通話回線の通話は終了します。
- ③「拒否」ボタンまたは「あとで通知」ボタン
割込着信が停止します。
なお、音声通話回線の通話は継続します。

3

本アプリケーションの通話画面、またはCallKitの通話画面に切り替わりますので、相手の方と通話します。



【補足説明】

- 音声通話回線で通話中に本アプリケーションからの割込着信に応答した場合、表示される画面は、最初の通話を受けたときの端末状態（ロック画面／ロック画面以外）によって異なります。
- ロック画面で音声通話回線の通話中に割込着信へ応答した場合は、CallKit専用の通話画面に切り替わります。
- ロック画面以外で音声通話回線の通話中に割込着信へ応答した場合は、本アプリケーションの通話画面に切り替わり、そのまま通話できます。

4

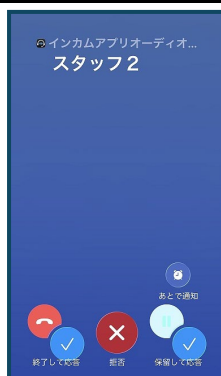
通話が終わったら、「終了」ボタンをタップします。



- 音声通話回線で通話中に本アプリケーションから割込着信を受けた際、音声通話回線の通話を保留して本アプリケーションの割込着信に応答する
※本手順は各キャリアのキャッチホン／割込電話サービスなどの契約状況に依存しており、該当サービスを契約している場合にのみ利用可能です。

1

音声通話回線で通話中に本アプリケーションから割込着信を受けると、割込音が聞こえ、CallKitの割込着信画面が表示されます。

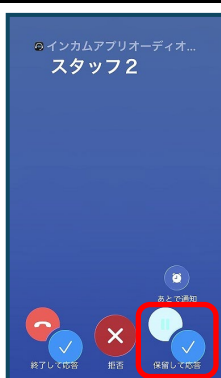


【補足説明】

- 本アプリケーションから割込着信が入っている間は割込音が聞こえます。割込音は端末側が送出しているため、音量や回数を変更することはできません。

2

CallKitの割込着信画面で「保留して応答」ボタンをタップします。

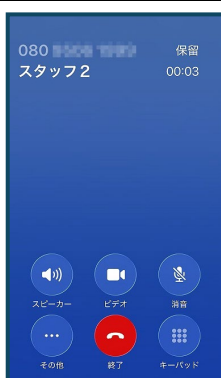


【補足説明】

- 各ボタンをタップすると、端末側の機能が動作します。
※端末側の仕様のため、OSバージョンによって機能や動作が異なる場合があります。
- ①「保留して応答」ボタン
音声通話回線の通話を保留し、本アプリケーションからの割込着信に応答します。保留中は、音声通話回線の通話の相手には標準電話アプリの保留音が聞こえています。
各キャリアのキャッチホン／割込電話サービスなどを契約していない場合、「保留して応答」ボタンをタップすると音声通話回線の通話は終了します。
- ②「終了して応答」ボタン
音声通話回線の通話を終了し、本アプリケーションからの割込着信に応答します。
- ③「拒否」ボタンまたは「あとで通知」ボタン
割込着信が停止します。
なお、音声通話回線の通話は継続します。

3

CallKitの通話画面に切り替わりますので、相手の方と通話します。

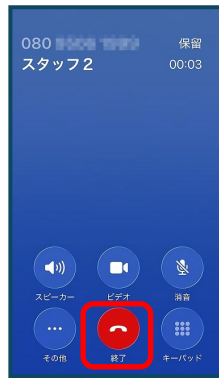


【補足説明】

- 各ボタンをタップすると、端末側の機能が動作します。
※端末側の仕様のため、OSバージョンによって機能や動作が異なる場合があります。
- ①「スピーカー」ボタンまたは「消音」ボタン
本アプリケーションでは、「スピーカー」ボタンおよび「消音」ボタンはサポートしていません。ハンズフリー通話に切り替える場合は、「その他」ボタンから「インカムアプリで開く」を選択して本アプリケーションの通話画面に切り替え、「HF切替」ボタンや「ミュート」ボタンをタップしてください。
- ②「その他」ボタンで「インカムアプリで開く」
本アプリケーションの通話画面に切り替わります。
※端末がロック状態で受けた音声通話回線の通話に割り込んだ場合、「インカムアプリで開く」をタップすると、表示される画面で認証を求められることがあります。
- ③「キーパッド」ボタンおよび「ビデオ」ボタン
これらの操作（機能）は無効です。

4

通話が終わったら、「終了」
ボタンをタップします。



【補足説明】

- 「終了」ボタンをタップすると、本アプリケーションの通話が終了し、音声通話回線の通話の通話状態に切り替わります。
本アプリケーション側の通話を相手が終了した場合は、音声通話回線の通話が保留状態になります。終話後に表示される標準電話アプリの「保留」ボタンをタップすると、音声通話回線の通話に戻ります。

5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）

VoIPプッシュ通知機能を利用する

本アプリケーションがインカムのルームに入室していない場合は、インターネット経由のVoIPプッシュ通知により、内線一般着信およびナースコール着信時に本アプリケーションを起動できます。バックグラウンド状態（画面消灯時を含む）や未起動であっても、ログイン状態であればVoIPプッシュ通知により起動します。

※事前に以下の主装置側のデータ設定を行っておく必要があります。

- 主装置のIPアドレス：「デフォルトゲートウェイ」及び「優先DNSサーバ」の項目にシステム環境に接続しているルータ等のIPアドレスを設定
- プッシュ通知の利用有無：「あり」を設定（初期値は「あり」）
- 電話機毎のDILIN別着信鳴動設定：「本アプリケーションを接続する収容位置に着信音99（無鳴動着信）以外」を設定（内線一般着信用の設定）

本機能は事前に主装置をインターネットへ接続する必要があります（主装置がインターネットへ接続されていない場合は本機能が利用できません）。インターネットの接続方法については、販売店にご確認いただくか主装置の工事・保守マニュアル「工事マニュアル編-LANケーブルの接続」及び「データ設定マニュアル編-インターネットWeb設定 ■主装置のインターネット接続」の記載（Web設定専用コマンドの設定は不要）をご参照ください。

ご注意

- 外出などで端末が無線LANアクセスポイントの圏外となった場合、VoIPプッシュ通知を受信しても主装置へ接続できず、着信に応答することはできません。外出時にVoIPプッシュ通知を受ける必要がない場合は、外出前に主装置へ接続している状態で、本アプリケーションの設定から「ログアウト」を実行し、主装置との接続を一時的に解除してください（詳細は「3.アプリケーションの設定-ログアウト」を参照）。
- VoIPプッシュ通知は、端末の電源投入直後で端末動作が安定していない場合や、インターネット経由で動作する特性上、ネットワーク環境の負荷状況やルータ設定などの影響により、遅れて動作する、通知が届かない、または通知が届いても着信音が鳴動しないことがあります。
また、本アプリケーションが接続中に主装置を再起動した場合は、再起動後約40秒間はVoIPプッシュ通知が届かないことがあるため、主装置再起動後は本アプリケーションの再接続操作を行ってください。
- 端末のマルチタスク画面から本アプリケーションを消去後、一度も本アプリケーションの着信に反応していない場合は、本機能で着信を受けても端末のマルチタスク画面に本アプリケーションは表示されません。

5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）

CallKitで電話を受ける

本アプリケーションの着信時は、端末の標準電話アプリと連携したCallKit機能の画面が表示され、そこで応答操作を行います。

VoIPプッシュ通知機能の設定や注意事項の詳細については、本取扱説明書の「5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）-VoIPプッシュ通知機能を利用する」を参照してください。

※CallKit機能（標準電話アプリ）は、着信時の表示を「バナー」または「フルスクリーン」から設定できますが、「バナー」設定の場合は他アプリケーションのバナーと競合し、正常に表示できないことがあります。「フルスクリーン」での利用を推奨します。

補足説明

- CallKitと本アプリケーションの画面遷移（画面切替）については、端末制御となります。
- 各種音量（着信音量、受話音量等）については、端末側の設定に依存します。
- 本機能専用の各画面においては、電話機LCD情報を「1行分」表示することが可能です。
※主装置側で登録されている情報に外字（携帯マーク等）が含まれていた場合は、全角スペースに置き換えて表示されます。
- 標準電話アプリの履歴には、本アプリケーションに着信した履歴は残りません。
- 本機能を利用して着信を受けた際、「主装置接続中」の状態を示す画面が表示されることがあります。その場合、主装置と接続が完了するまでお待ちください。主装置への接続完了後、着信音が鳴動します。

ご注意

- 本機能利用時の着信音については、本アプリケーションの「基本情報の設定-着信設定-内線着信音、内線一般着信音」で設定されている着信音が鳴動します。
※1：「ユーザメロディ」設定については、「grande_valse_brillante_op18」となります。
※2：主装置側のデータ設定によっては（例：「メロディ」等）、本アプリケーションの「固定音」で着信鳴動します。標準電話アプリに音声通話回線から着信が入った際は、OSで設定されている着信音が鳴動します。
- 本機能利用時は、複数の着信があった場合も、画面に表示中の着信以外に応答することはできません。
- 本機能を利用して着信に応答した際、OSバージョンや端末の性能、ネットワーク環境等により、通話開始時の音声等が途切れることがあります。
- 本アプリケーションでは、CallKit画面の「スピーカー」ボタンおよび「消音」ボタンの機能はサポートしていません。CallKit画面で通話中にハンズフリー通話へ切り替える場合は、「その他」ボタンから「インカムアプリで開く」を選択して本アプリケーションの通話画面に切り替え、「HF切替」ボタンや「ミュート」ボタンをタップしてください。

5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）

外出先で利用する

モバイルデータ通信を利用することで、本アプリケーションを外出先（主装置のローカルネットワーク外）でも使用することができます。

※本機能を利用するには下記の設定が必要となります。

（詳細は、「3. アプリケーションの設定」に関するページの記載をご参照ください）

【保守情報の設定—ネットワーク接続条件設定】

- どこでもでんわ利用有無→「利用する」に設定
- 主装置ホスト名（*）
- 主装置TCPポート番号
- 内線番号

*：「主装置MACアドレス.主装置容量(xiccus/xiccula/xicculb).hoshunet.jp」の形式で入力します。

※事前に以下の主装置側の設定、ルーター設定を行っておく必要があります。詳細については、販売店にご確認ください。

- 主装置にどこでもでんわ対応のVoIP内線ユニット（VOIPUD）を実装する
- 主装置のDDNSサーバ登録を行う
- 主装置設定の「MFTアプリ2登録時のIPアドレス上書き有無」を「あり」に設定する
- 主装置側ネットワークのルーターにどこでもでんわ機能で使用するポートの解放設定、静的NAPT（静的IPマスカレード）設定を行う

ご注意

- ご自宅のWi-Fi接続や公衆Wi-Fi接続ではご利用いただけません。モバイルデータ通信をご利用ください。
- 本アプリケーション側の設定は二次元コードを使った設定で反映させることができます。

5. アプリケーションの操作方法（便利な使い方）

二次元コードで設定を行う

Xシリーズ主装置のデータ設定アプリケーション（バージョン：4.1.0.1～）で作成した二次元コードを読み取ることで本アプリケーションの設定をすることができます。

二次元コードで設定できる項目は下記の通り。

【保守情報の設定—ネットワーク接続条件設定】

- どこでもでんわ利用有無
- 主装置ホスト名
- 主装置IPアドレス
- 主装置TCPポート番号
- 内線番号

補足説明

- 二次元コードで設定されない項目は必要に応じて手動で設定してください。
- 二次元コード読み取り後に主装置の設定を変更した場合は、主装置の変更に合わせて本アプリケーションの設定を変更するか、再度二次元コードを作成して本アプリケーションで読み込みを行ってください。